

卷末資料 1-4

模擬検証（実践版）シナリオ

時間	担当者	台詞	共有スライド	顔面画像
0:00			スライド p1「模擬検証会議」	
0:03			スライド p3「本動画で取り扱っている…」	
0:08	司会 (木下)	皆様本日はCDR模擬個別検証にご参加ありがとうございます。司会を務める△病院小児科の木下です。 まず、検証の注意点を確認させて頂きます。 お互いに尊重しあいながら、ぜひ前向きな予防策を考えましょう。 詳細は、スライドを参照ください。 では、黙祷をお願いします(数秒間黙祷)。 本日は担当された小児科医師、救急隊、警察、保育園の園長先生、また、地域の保健師さんと児童相談所の方にもご参加頂きました。 最初に、ご参加の皆様で、この事例の概要を確認しましょう。 では小児科の仙田先生から順に、開示できる情報の共有をお願い致します。	司会者 追加スライド「検証の注意点」 スライドp4「情報の共有」	司会者 ギャラリービュー
1:00	小児科医 (仙田)	はい、まるまる市民病院 小児科の仙田です。 この症例は、生来健康な3歳男児で、当院には健診や風邪などの日常診療で受診歴がある程度です。 自宅浴槽での溺水とのことで受け入れ要請がありました。 病院到着時は心肺停止の状態で、蘇生処置を行いました。自己心拍は再開せず、30分後に死亡確認となりました。 死因は溺水と考え、警察へ届出を行いました。 その後はどうなったかは分かりません。 救急車には母と兄が同乗、父は職場から直接来院されました。 両親とも突然のことで大変動揺されており、詳細な問診はできませんでしたが、母が兄の勉強をみている5分ぐらいの隙に、この患児はひとりで風呂場に行って浴槽に転落したとのことでした。	小児科医	
1:53	監察医 (小谷)	監察医務院の小谷です。 異状死とのことで、死因調査のための解剖を行いました。 気道の微細な泡沫や肺の所見より、溺水を吸引したことによる窒息死、つまり溺死と考えます。 身長や体重は標準範囲内で、外表検査や臓器の検索でも、病気や虐待を疑わせる所見はみられませんでした。	調査票 B1	法医学者
2:12	救急隊 (竹原)	まるまる市 消防本部の竹原です。 当日17:45に母親からの119番があり、「子どもが風呂で溺れ息をしないようだ」との通報内容でした。 18:00に救急隊が接触した時には、患児は着衣の状態で、母が指令本部の指示に従って胸骨圧迫をしていました。 心静止でしたので救急隊が心肺蘇生を引き継ぎ、病院到着まで続けましたが、心拍再開はありませんでした。 なお、室内は整頓されておりました。 脱衣所で患児と接触したため、浴室の中までは見ておりません。	救急隊	
2:55	司会	ありがとうございます。死亡当日の状況に関して質問はありますでしょうか？（1秒間、皆を見回していないことを確認） では、次に養育状況についてお願いします。	司会者 スライド p5「養育状況」	司会者
3:05	児童相談所 (渡邊)	まるまる中央児相の渡邊です。 このご家庭には児童相談所の係属歴はありませんでした。	調査票 B3	児童相談所

3:12 保健師 (前山)	まるまる市で保健師をしています、 前山 です。 このお子さんは各種健診や予防接種もちゃんと受けておられて、特に何も指摘はありませんでした。		
3:20 保育園 (山岡)	まるまる保育所の園長の 山岡 です。 ご両親が就労されているため、1歳時より当園で保育を行っておりました。 とても活発なお子さんでした。 お父様がお迎えにいらっしゃることもあり、ご両親で協力して育児をされている様でした。 ご家庭での養育に問題は感じませんでした。	調査票 B4	保育園長
3:40 小児科	当院へは、主に予防接種や健診で受診されていました。 発達の問題はありません。 大きな怪我の既往もなく、私の見る限り、親子の関わり等でも気になる点はありませんでした。	スライド p6「養育不全は疑われない」	小児科医
3:53 司会	多くの情報共有をありがとうございます。何か質問や補足はありますでしょうか。（1秒間、皆を見回してないことを確認） それでは、 本題の 、予防可能性についての議論に移しましょう。 本児の死が予防可能であったかについて、ご意見のある方はいらっしゃいますか？	スライド p7「予防可能性」	司会者
4:10 児童相談所	日々の生活の中で3歳のお子さんから5分程度目を離すことは、養育上特別問題のあったこととは思えません。 ただ、5分程度目を離しても安全な家庭環境を作ることが出来なかったかどうか、という点に関しては検討が必要だと思います。		児相
4:28 保健師	そうですね。養育上、大きな問題はなかったと思います。 風呂場に入れないようチャイルドロックが効かっているれば、防ぐことができたのではないかと思います		保健師
4:37 司会	事故予防に関して、ふだん指導はどのようにしていますか？		司会者
4:40 小児科	1歳半健診で、事故予防のパンフレットを配布しています、この中に『浴室の危険性』に関する記載があります。 ただ、直接指導をするわけではありませんので、どのくらい読まれているかは、なんとも言えませんね。		小児科医
4:55 司会	自宅浴槽での溺水を防ぐために、具体的に可能な取り組みはございますでしょうか		司会者
5:00 保健師	この地域では浴槽での溺水が続きましたので、赤ちゃん訪問の際にご自宅に伺いますので、この時にお話をしてみてもよいかもしれません		保健師
5:10 司会	なるほど、パンフレットを配るだけでなく、危険性を 直接 伝える取り組みは効果がありそうですね		司会者
5:17 小児科医	たしかに、風呂の危険性に関しては 繰り返し 持ち上がってくる、我々にとって重要なテーマですね 風呂での溺水に関して全国でどうなっているか、年齢や起こりやすい状況を調査するのはいいかでしょうか。 本事例のように風呂に入る時間帯に保護者が一人だったり、小さな同胞がいる症例が多い様な印象があります。		小児科医

5:40	司会	統計的にまとめて共通点を明らかにしていくことで、我々が対応すべきターゲットをより明らかにすることができると思います。 さらに具体的な事例の蓄積があると、保護者にとってはより身近な問題として予防策をとろうとする行動変容につながるかもしれません。 今回の会議で提案された対応について、早速行動を起こすことが出来る方はいらっしゃいますか？	司会
6:05	保健師	赤ちゃん訪問と健診時に直接指導を行う項目にいれてみようと思います。 あと、この問題は自分たちの地域だけの問題ではないと思いますので、他の地域にも説明して、検討を促してみたいと思います	保健師
6:17	小児科	家庭内の事故の中でも風呂での溺水は致死的です。で、健診時に直接この点を強調しながらパンフレットを配布しようと思います。 また地域の医師会の会合でも話題にあげてみようと思います。	小児科医
6:30	保育園	もうすぐ1歳児の保護者会がありますので、家庭での事故防止として、風呂場にとどのような対策をとっているかの意見交換をし てみようと思います。	保育園
6:43	司会	そうですね。ぜひ、今後風呂溺水を防ぐための啓発の状況について評価していき、私たちに出来る予防的関わりについて 継続的に検討していきたいと思います	司会者
7:05		また、全国の症例収集に関してもすすめられる様、専門パネルに進言し、次回の会議時に進捗を報告します。 その他、質問やコメントはありますか？ 本日も具体的な提言の案をいくつか頂きましたので、このようにまとめました。 それでは本日の会議はこれで終了といたします。皆様ありがとうございました。	ギャラリービュー
7:20			

模擬検証会議

- 本動画で取り扱っている事例は
実際の事例ではなく、当事者間での検証会議の流れを
把握していただくための模擬事例です
- 動画は8分程度です
会議に参加されているようなお気持ちでご視聴下さい



検証の注意点

- 子どもの予防可能死を減らすことが目的である
- 特定の個人や関係機関の責任を問う場ではない
- 検証委員のお互いの立場を尊重し前向きな検討を行う
- 子どもの死を予防するための対策の提言を行う

死亡状況の共有→養育状況→予防可能性→提言

- 3歳男児
自宅浴槽での溺水
- 事例に関する全ての情報を共有する

死亡状況の共有→養育状況→予防可能性→提言

Child Death Review 死亡調査票 (基本票)	
A1. 死亡の医学的背景	
年齢/月齢/日齢 3 歳 男 女	No. 3721099
死亡診断書/死体検察官の検視 (ア) 直接死 (イ) (ア) の原因	
死亡時の所見 死亡時体重: 15 kg・不明 外見所見: ☒ 顔面死のため ☐ 窒息死のため	
A2. 死亡後の医学的背景	
年齢/月齢/日齢 3 歳 男 女	No. 3721099
死亡に關連した各種アクション 警察に通報: ☒ した ☐ しない 院内CPTAの起動: ☒ した ☐ しない 児童相談所に報告: ☒ した ☐ しない 児童相談所に調査: ☒ した ☐ しない 児童相談所に調査: ☒ した ☐ しない 院内で医学的な検証: ☒ した ☐ しない 院内で多機関検証: ☒ した ☐ しない その他の検証: ☒ した ☐ しない	
各種検証結果 (抄) 検出結果あり 検出結果による結果: 検出結果に照らし、死亡の状況について意見交換、必要に応じて死因の検証の場を迅速に行われる。 死亡の状況や予防にかかわる安全対策は行われる。	

・臨床医からの情報

・基礎疾患・死亡状況や死因の考察を共有する

死亡状況の共有→養育状況→予防可能性→提言

Child Death Review 死亡調査票 (追加票)	
B1. 剖検結果の詳細	
年齢/月齢/日齢 3 歳 男 女	No. 3721099
記載者の情報 記載者: ☒ 剖検を自ら実施した ☐ 剖検に立ち会った ☐ 結果を剖検担当者へ検証した ☐ 結果を自ら閲覧した ☐ 依頼等により結果を確認した ☐ その他 ()	
剖検結果 主診断: 溺水吸引による窒息 副診断: 死因への関与 あり・可能性あり・可能性低い・なし 死因に関するコメント: 溺水吸引を示唆する所見の他に死因とならうる相対的な損傷や疾患は指摘されなかつたことより、死因は溺水吸引による窒息死と判断される。なお、事例の概要と矛盾する所見は指摘されない。	
事例概要 17:30頃より自宅浴室にお湯を張りはじめ、しばらく目を離した。17:45頃に母親が、着衣のまま浴室を下にして浴槽内に浮いている死体を発見。浴槽高さ36.5cm、浴槽深さ61cm、水深47cm。119番通報のあと蘇生を行った。侵入跡なし。明らかな育児放棄やDV証を認めない。搬送先の病院で心拍再開なし。気管内より多量の水が吸引された。18:55死に確認。	
外見所見 鼻腔および口腔から白色微細泡沫が漏出している。蘇生装置の痕跡を認める。その他に明らかな損傷はなし。	
肉眼所見 両肺が著しく膨張し、気管・気管支内に白色微細泡沫を伴う液体が少量に貯留している。肺臓に萎縮を認める。その他に明らかな病理学的所見はなし。	
組織所見 両肺の肺組織内に淡好酸性均質物質の貯留を認める。その他に明らかな病理学的所見はなし。	

・法医からの情報

・解剖結果や死因の考察を共有する

死亡状況の共有→養育状況→予防可能性→提言

Child Death Review 死亡調査票⁵ B
用途別用紙 別添用紙 B6: 追加用紙

年齢/月齢/日齢 性別 No.

記録

記録欄

記 / 標準 標準月日紙

- 救急隊からの情報
- 現場接触時や搬送時の情報を共有

死亡状況の共有→養育状況→予防可能性→提言

死亡状況の共有→**養育状況**→予防可能性→提言

Child Death Review 死亡調査票 (追加票)
 予防のための子どもの死に検証
 B3. 児童福祉

年齢/月齢/日齢: 3歳 性別: 男 No.: 3721 099

該当情報の有無
 情報提供の可否: ☒ 可 ☐ 不可 ☐ 回答不可
 関与歴: ☒ 有 ☐ 無
 家庭環境 (記載者の印象): 養育・リスク・不安は、問題 不全 あり あった なし
 児の属性: 要保護・要支援・該当 なし
 危険なエピソード (記録にあるもの): 複数回・単回・可能性 あり あり あり なし
 記録:
 別紙参照:
 書ききれない場合、別紙を添付してください。

- 児童相談所からの情報
- 養育状況や虐待の関与について

死亡状況の共有→**養育状況**→予防可能性→提言

Child Death Review 91 B :
 行政機関 B2. 保健行政

年齢/月齢/日齢: 3歳 性別: 男 No.: 3721 099

該当情報の有無
 情報提供の可否: ☒ 可 ☐ 不可 ☐ 回答不可
 関与歴: ☒ 有 ☐ 無
 家庭環境: 2 / 一記関 / 環関 健康
 母の属性: 与別歴報母 / 健康
 危険なエピソード: 一提 / 一提 / 一提 / 健康
 記録:
 別紙参照: 37
 下ド自健な 面 話與ビ危家な

- 保健師からの情報
- 社会資源の利用状況等について

死亡状況の共有→**養育状況**→予防可能性→提言

Child Death Review 死亡調査票 (追加票)
 子供の死の調査票 (追加票)
 B4. 教育 / 養育

年齢/月齢/日齢: 3 歳 性別: 男 No.: 3721 099

該当情報の有無
 情報提供の可否: ☒ 可 ☐ 不可 ☐ 回答不可

対人関係: 困難・心配はあった ☒ 問題なし
 学習: 困難・心配はあった ☐ 問題なし
 家庭環境: 問題・心配はあった ☒ 問題なし

危険なエピソード (記録にあるもの): 複数回・単回・可能性 ☒ なし
 兄の健康や安全上の、生命にかかわるリスクとなりえたエピソードの記録

記録:
 ・1歳3ヶ月より当園で保育開始。両親とも就労。
 ・はじめの4ヶ月程度は人見知りがあったが、以降は保育者によく懐いた。
 ・基本は母親が自家用車で送迎し、週1回程度は父親が迎えにきた。稀に30分程度の延長保育の希望があった。
 ・家庭内の状況は円満な様子で、家庭内の不和などを訴えたことはない。お絵かきなどでは両親と7歳の兄と本人の4人が並んでいる絵を好んで描いていた。
 ・食べ物好き嫌いなし、アレルギーや病気の申告なし。
 ・水遊びは好きなようで、夏場のプール遊びを終了する際に、まだ遊びたいと泣くことがあった。
 (以上、電話による聞きとり 2021.12.31)

別紙参照
 別紙も添付の場合は ☒

書ききれない場合、別紙を添付してください。

• 教育関係者（保育園）からの情報

• 教育/養育機関での様子について

死亡状況の共有→**養育状況**→予防可能性→提言

• 養育不全は疑われない

死亡状況の共有→養育状況→**予防可能性**→提言

死亡状況の共有→養育状況→予防可能性→**提言**

死亡状況の共有→養育状況→予防可能性→提言

- ・保健師：赤ちゃん訪問の際に風呂の危険性を伝え
チャイルドロック等具体的な事故予防の指導をする

死亡状況の共有→養育状況→予防可能性→提言

- ・保健師：赤ちゃん訪問の際に風呂の危険性を伝え
チャイルドロック等具体的な事故予防の指導をする
- ・小児科：健診でパンフレット配布時に風呂の危険性を伝える
地域医師会でも周知する

死亡状況の共有→養育状況→予防可能性→提言

- ・保健師：赤ちゃん訪問の際に風呂の危険性を伝え
チャイルドロック等具体的な事故予防の指導をする
- ・小児科：健診でパンフレット配布時に風呂の危険性を伝える
地域医師会でも周知する
- ・保育園：保護者会で、各家庭での現状に関し意見交換をする

死亡状況の共有→養育状況→予防可能性→提言

- ・保健師：赤ちゃん訪問の際に風呂の危険性を伝え
チャイルドロック等具体的な事故予防の指導をする
- ・小児科：健診でパンフレット配布時に風呂の危険性を伝える
地域医師会でも周知する
- ・保育園：保護者会で、各家庭での現状に関し意見交換をする
- ・司会：専門パネルに全国の症例収集を依頼

死亡状況の共有→養育状況→予防可能性→提言

Child Death Review 検証票（個別検証）
 子供の死のための子供の死の検証
C3. 個別検証-2

年齢/月齢/日齢 **3** 歳 性別 **男** 女 No. **3721 099**

介入可能な要因と、介入策

対象となる事象	介入の主体	介入の内容	有効性 / 実現可能性
人的要因： 子供一人で風呂場へ入った	行政 ・新生児訪問 ・児童相談所 ・保育所 ・保護者会	・子供が一人で風呂場へ入れないよう工夫を一緒に考える（チャイルドロック等） ・風呂での溺水の危険性を伝える	実現可能
環境要因： 小児の浴槽での溺水	小児科・健診 CDR委員会	・地域全体の取り組みとして広める（区医師会、保健指導） ・専門/ナールに全国の症例収集を依頼、症例の特徴分析を事故予防につなげるよう提案	実現可能

別紙参照
 別紙を添付の場合は ☒

適宜コピーして使用してください。

- 検証過程の詳細ではなく得られた提言を列挙する

この動画が、「予防可能な子どもの死亡を減らす」という目的のために活用されることを願っています

【演者】

司会	木下 あゆみ（四国こどもとおとなの医療センター）
小児科医師	仙田 昌義（国保旭中央病院小児科）
法医学医師	小谷 泰一（三重大学法医学講座）
救急隊	竹原 健二（国立成育医療研究センター）
警察官	小西 央郎（中国労災病院小児科）
保健師	前山 和子（三重県CDR事務局）
児童相談所担当	渡邊 直（千葉県柏児童相談所）
保育園先生	山岡 祐衣（東京医科歯科大学）

【シナリオ作成】

内田 佳子（国立成育医療研究センター）

模擬検証の様子（動画資料より一部画面キャプチャーによる）

- 本動画で取り扱っている事例は
実際の事例ではなく、当事者間での検証会議の流れを
把握していただくための模擬事例です
- 動画は8分程度です
会議に参加されているようなお気持ちでご視聴下さい



司会者

死亡状況の共有→養育状況→予防可能性→提言

Child Death Review 死亡調査票 (追加票)
04. 教育 / 養育

年齢/月齢/性別: 3 歳 女 No. 3721 099

保護者の有無: ☒ あり ☐ 不明 ☐ 不明

対人関係: ☒ 良好 ☐ 良好 ☐ 良好 ☐ 良好 ☐ 良好 ☐ 良好

中核: ☒ 良好 ☐ 良好 ☐ 良好 ☐ 良好 ☐ 良好 ☐ 良好

家族関係: ☒ 良好 ☐ 良好 ☐ 良好 ☐ 良好 ☐ 良好 ☐ 良好

養育状況: ☒ 良好 ☐ 良好 ☐ 良好 ☐ 良好 ☐ 良好 ☐ 良好

養育者: ☒ あり ☐ あり ☐ あり ☐ あり ☐ あり ☐ あり

説明: ☒ あり ☐ あり ☐ あり ☐ あり ☐ あり ☐ あり

備考: ☒ あり ☐ あり ☐ あり ☐ あり ☐ あり ☐ あり

- 教育関係者（保育園）からの情報
- 教育/養育機関での様子について



保育園

死亡状況の共有→養育状況→予防可能性→提言

- 保健師：赤ちゃん訪問の際に風呂の危険性を伝え
チャイルドロック等具体的な事故予防の指導をする
- 小児科：健診でパンフレット配布時に風呂の危険性を伝える
地域医師会でも周知する
- 保育園：保護者会で、各家庭での現状に関し意見交換をする
- 司会：専門パネルに全国の症例収集を依頼



司会者